努力の先に笑顔を見る

校長 岸田 薫

このままいつまでも暑い日が続くのではないかと心配になるほど暑い9月を経て、10月は、気持ちのよい秋晴れの中で様々な行事を行うことができました。1年生の三ツ池公園遠足、2年生の八景島シーパラダイス遠足、3年生のさつまいも掘り、4年生の防災センター見学、5年生の心の教育ふれあいコンサート、個別支援学級の横浜ラポール校外学習。お天気は、言ってみれば「運」。雨で延期になってしまった1年生の遠足に、6年生が、1年生一人ひとりに「てるてる坊主」を作って晴れをお祈りしてくれました。祈りの甲斐あって、延期された日は、とてもよいお天気になりました。「運も実力のうち」と言いますが、遠足などの校外学習は、「天気がよければ全てよし」とも言うくらい、「運」が重要なのです。

さて、10月22日(日)に、神奈川県マーチングバンドフェスティバルが開催されました。半年間、練習を積み重ねてきた「駒岡小マーチングバンドクラブ」も出場し、晴れて関東大会の切符を手にしました。これまででいちばんの見事な演奏・演技でした。マーチングバンドクラブに所属する児童のご家庭の皆様には、これまで多大なるご支援・ご協力をいただき、本当にありがとうございます。また、学校の近くにお住まいの皆様には、早朝からの大きな音での演奏でご迷惑をおかけしておりますが、いつも温かく見守ってくださり、感謝申し上げます。

マーチングバンドとは、楽器の演奏をしながら、その曲に合った動きを加えて行う一つの演奏形態です。音楽と動きの調和が重要であるとともに、集団としての動きの美しさが求められます。見た目は非常に華やかですが、その裏にある努力こそが大事だと思っています。一つのバンドとして演奏するためには、人に頼ることなく、自身のパートを確実に演奏する必要があります。集団として動くためには、一人ひとりが責任をもって自身の動きを全うしなくてはいけません。そのために、子どもたちは、週に2度の朝練習と月に2度の土曜日練習に、一生懸命取り組みました。夏休みの練習も、暑い中でしたが、弱音を吐かずに頑張りました。その結果、11月11日に行われる、さいたまスーパーアリーナでの関東大会に臨むことになったのです。

でも、大切なのは、結果ではなく過程です。目標をもって、一歩一歩進んできたその過程です。練習の苦しさの中にも、演奏する楽しさや、みんなで創り上げるドリルの楽しさを感じて、今があります。「音楽」は、「音を楽しむ」ものであってほしいと思います。「音楽」が、「音が苦」にならないように…。

満足感は、結果にではなく過程にこそあります。子どもたちは、大舞台を前にプレッシャーを感じることと思います。でも、そのプレッシャーをはねのけるに足る練習をしてきたという自信をもって、駒っ子らしい素直な演奏・演技をしてくれることを願っています。努力してきたからこその笑顔が、きっと見られるはずです。これまでの努力が、満足感につながるように・・・。

「運も実力のうち」と言いますが、マーチングバンドの子どもたちがつかんだのは、「運」ではなく、「努力の意味」だと思います。今後も、「駒岡小マーチングバンドクラブ」に、力強い応援をどうぞよろしくお願いいたします。